

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-B-20-0117_改1
提出年月日	2021年9月14日

## VI-3-3-6-2-10-1-3-2 管の応力計算書

(原子炉格納容器フィルタベント系)

02 ③ VI-3-3-6-2-10-1-3-2 R0

2021年9月

東北電力株式会社

## まえがき

本計算書は、添付書類「VI-3-1-5 重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及び「VI-3-2-9 重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。

評価条件整理結果を以下に示す。なお、評価条件の整理に当たって使用する記号及び略語については、添付書類「VI-3-2-1 強度計算方法の概要」に定義したものを使用する。

・評価条件整理表

応力計算 モデルNo.	既設 or 新設	施設時の 技術基準に 対象とする 施設の規定 があるか	クラスアップするか				条件アップするか				既工認 における 評価結果 の有無	施設時の 適用規格	評価区分	同等性 評価 区分	評価 クラス	
			クラス アップ の有無	施設時 機器 クラス	DB クラス	SA クラス	条件 アップ の有無	DB条件		SA条件						
								圧力 (MPa)	温度 (℃)	圧力 (MPa)						温度 (℃)
FCVS-001	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
FCVS-002	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
FCVS-003	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
FCVS-004	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
KFCVS-101	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	66	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
KFCVS-105	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	2.0	66	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
KFCVS-106	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	2.0	66	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
KFCVS-108	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
KFCVS-109	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
KFCVS-111	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	854 (kPa)	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	1.2	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2

重大事故等対応設備

## 目次

1. 概要	1
2. 概略系統図及び鳥瞰図	2
2.1 概略系統図	2
2.2 鳥瞰図	5
3. 計算条件	8
3.1 設計条件	8
3.2 材料及び許容応力	11
4. 評価結果	12
5. 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果	13

## 1. 概要

本計算書は、添付書類「VI-3-1-5 重大事故等クラス 2 機器及び重大事故等クラス 2 支持構造物の強度計算の基本方針」及び「VI-3-2-9 重大事故等クラス 2 管の強度計算方法」に基づき、管の応力計算を実施した結果を示したものである。






評価結果の記載方法は、以下に示すとおりである。

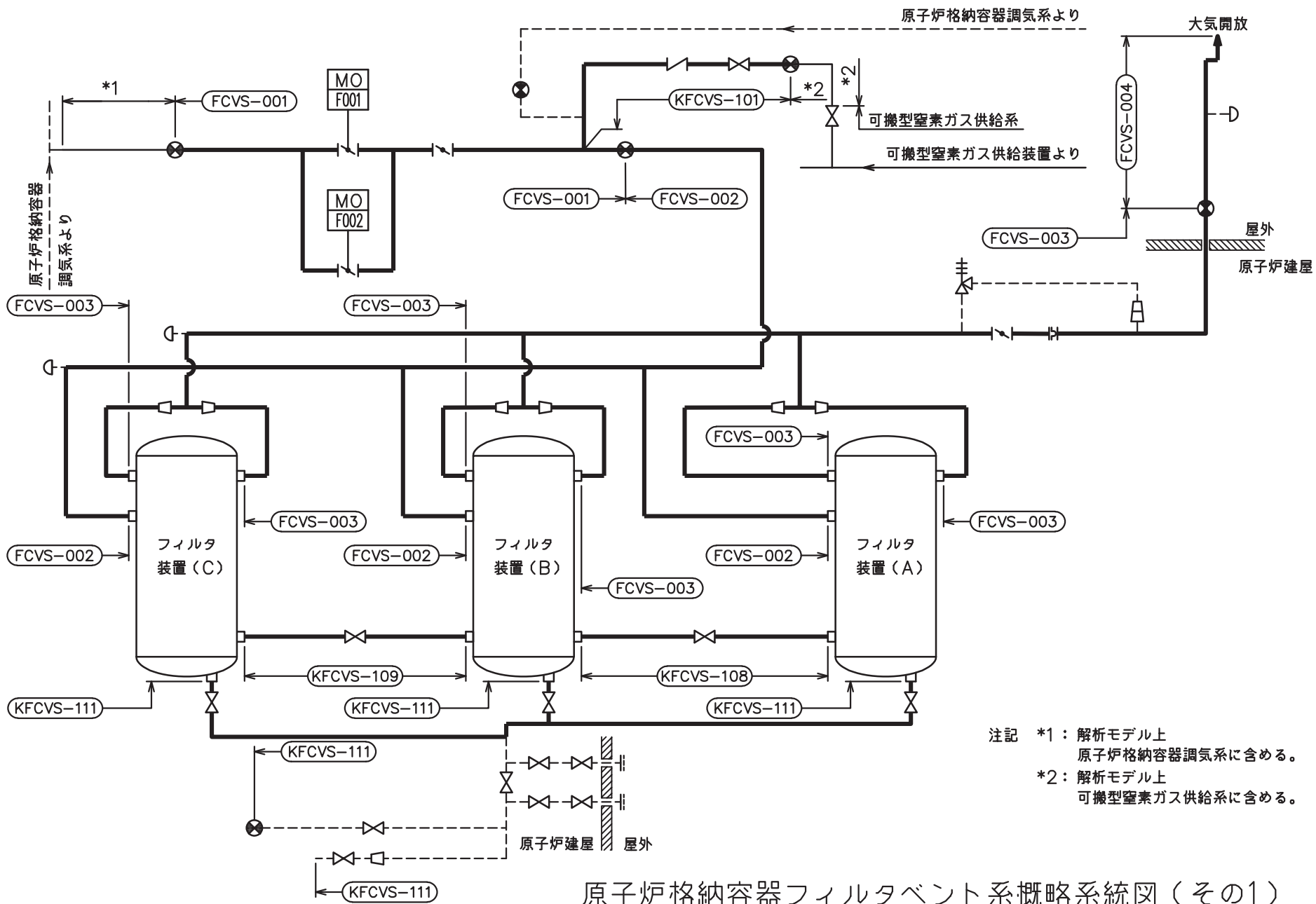
### (1) 管

工事計画記載範囲の管のうち、各応力区分における最大応力評価点の評価結果を解析モデル単位に記載する。また、全 10 モデルのうち、各応力区分における最大応力評価点の許容値／発生値（以下「裕度」という。）が最小となる解析モデルを代表として鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載する。各応力区分における代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を 5. に記載する。

2. 概略系統図及び鳥瞰図  
 2.1 概略系統図

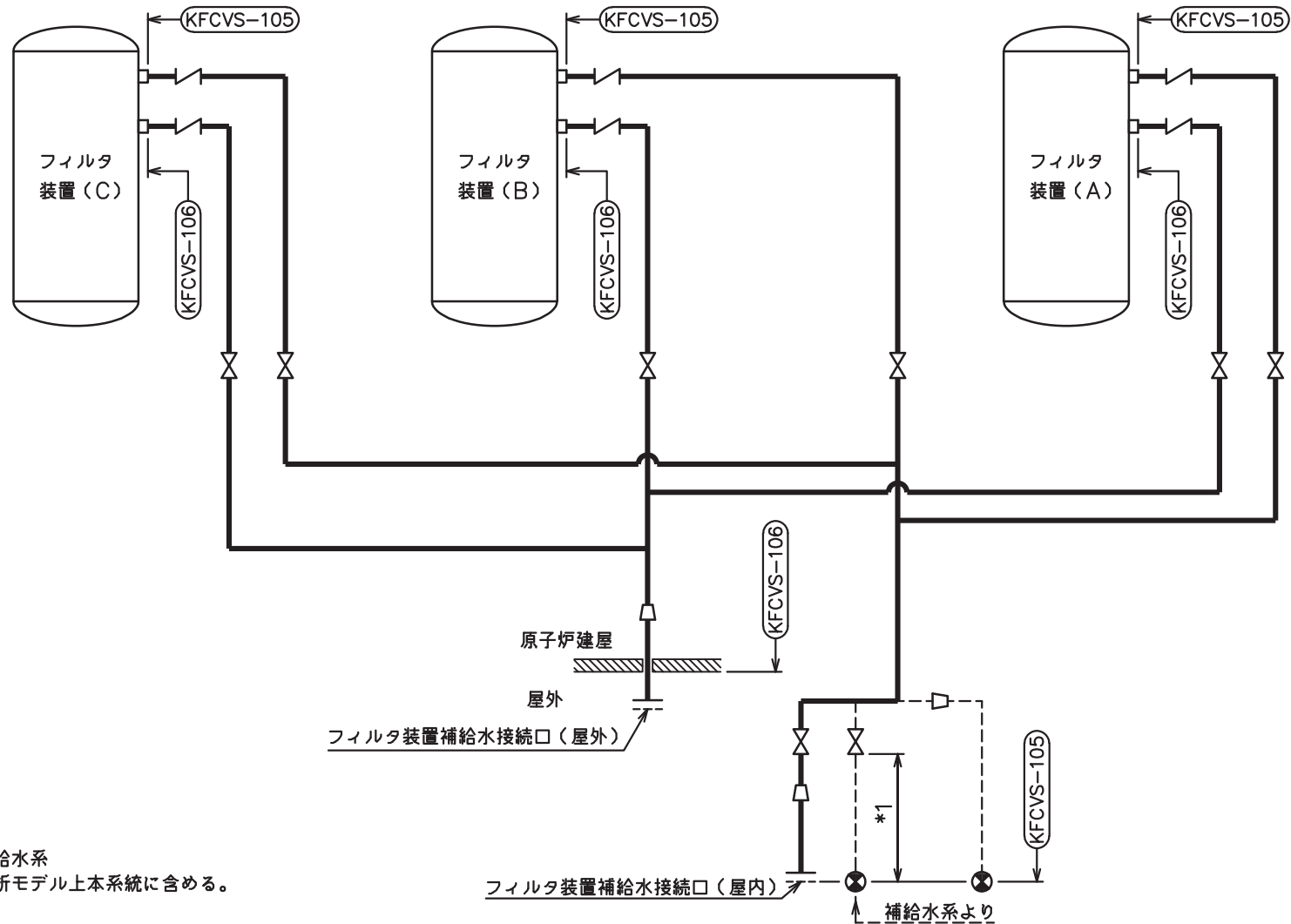
概略系統図記号凡例

記号	内容
 (太線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管
 (細線)	工事計画記載範囲の管のうち、本系統の管であって他計算書記載範囲の管
 (破線)	工事計画記載範囲外の管又は工事計画記載範囲の管のうち、他系統の管であって系統の概略を示すために表記する管
	鳥瞰図番号
	アンカ



原子炉格納容器フィルタベント系概略系統図 (その1)




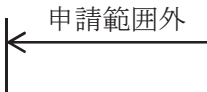
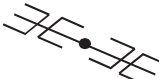


注記 \*1：補給水系  
解析モデル上本系統に含める。

原子炉格納容器フィルタベント系概略系統図（その2）

2.2 鳥瞰図

鳥瞰図記号凡例

記号	内容
	<p>工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管</p>
	<p>工事計画記載範囲外の管</p>
	<p>質点</p>
	<p>アンカ</p>
	<p>レストレイント            (矢印は斜め拘束の場合の全体座標系における拘束方向成分を示す。スナップについても同様とする。)</p>
	<p>スナップ</p>

9

鳥瞰図 FCVS-002-1/2

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 FCVS-002-2/2

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

### 3. 計算条件

#### 3.1 設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管名称で区分し、管名称と対応する評価点番号を示す。

鳥 瞰 図 F C V S - 0 0 2

管名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
1	854kPa (0.854MPa)	200	406.4	21.4	SF490A
2	854kPa (0.854MPa)	200	406.4	12.7	STS410
3	854kPa (0.854MPa)	200	216.3	8.2	STS410

設計条件

管名称と対応する評価点  
 評価点の位置は鳥瞰図に示す。

鳥 瞰 図 F C V S - 0 0 2

管名称	対 応 す る 評 価 点															
1	1	2														
2	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	
	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	
3	62	63	64	65	66	67										
	45	61	67	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	
	81	82	83	84	85	86										

配管の質量（付加質量含む）

評価点の質量を下表に示す。

評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)
1		18		35		52		70	
2		19		36		53		71	
3		20		37		54		72	
4		21		38		55		73	
5		22		39		56		74	
6		23		40		57		75	
7		24		41		58		76	
8		25		42		59		77	
9		26		43		60		78	
10		27		44		61		79	
11		28		45		62		80	
12		29		46		63		81	
13		30		47		64		82	
14		31		48		65		83	
15		32		49		66		84	
16		33		50		67		85	
17		34		51		69		86	

O 2 ③ VI-3-3-6-2-10-1-3-2(重) R 0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

支持点及び貫通部ばね定数

鳥 瞰 図 F C V S - 0 0 2

支持点部のばね定数を下表に示す。

支持点番号	各軸方向ばね定数(N/mm)			各軸回り回転ばね定数(N・mm/rad)		
	X	Y	Z	X	Y	Z
1						
13						
16						
18						
** 21 **						
** 24 **						
29						
34						
39						
41						
47						
** 52 **						
** 55 **						
** 57 **						
** 63 **						
** 65 **						
74						
80						
86						



O 2 ③ VI-3-3-6-2-10-1-3-2 (重) R 0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

### 3.2 材料及び許容応力

使用する材料の最高使用温度での許容応力を下表に示す。

設計・建設規格に規定の応力計算に用いる許容応力

材料	最高使用温度 (°C)	許容応力 (MPa)
		S <sub>h</sub>
SF490A	200	123
STS410	200	103



4. 評価結果

下表に示すとおり最大応力はそれぞれの許容値以下である。

重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管  
設計・建設規格 PPC-3500による評価結果

鳥瞰図	最大応力 評価点	最大応力 区分*	一次応力評価 (MPa)	
			計算応力 S p r m (1) S p r m (2)	許容応力 1. 5 ・ S h 1. 8 ・ S h
F C V S - 0 0 2	73	S p r m (1)	95	154
	73	S p r m (2)	96	185

注記 \* : S p r m (1), S p r m (2)はそれぞれ, 設計・建設規格 PPC-3520(1), (2)に基づき計算した一次応力を示す。

5. 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

No.	配管モデル	供用状態 (E) *1					供用状態 (E) *2				
		一次応力					一次応力				
		評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表
1	FCVS-001	10	21	154	7.33	—	10	22	185	8.40	—
2	FCVS-002	73	95	154	1.62	○	73	96	185	1.92	○
3	FCVS-003	22	43	160	3.72	—	22	44	192	4.36	—
4	FCVS-004	3	50	160	3.20	—	3	51	192	3.76	—
5	KFCVS-101	37	18	154	8.55	—	37	19	185	9.73	—
6	KFCVS-105	41	16	162	10.12	—	41	17	194	11.41	—
7	KFCVS-106	11	18	162	9.00	—	11	19	194	10.21	—
8	KFCVS-108	1	16	160	10.00	—	1	17	192	11.29	—
9	KFCVS-109	1	18	160	8.88	—	1	19	192	10.10	—
10	KFCVS-111	55	13	160	12.30	—	55	14	192	13.71	—

注記\*1：設計・建設規格 PPC-3520(1)に基づき計算した一次応力を示す。

\*2：設計・建設規格 PPC-3520(2)に基づき計算した一次応力を示す。